

DI ニュース

薬剤部 薬品情報係

新規採用医薬品通知

薬品名	効能・効果	備考
<p>ラミクタール錠 小児用 2mg Lamictal Tablets グラクソ・スミスクライン 1錠:ラモトリギン 2mg (Lamotrigine)</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; margin: 10px 0;"> <p>市販直後調査 平成21年1月～平成21年6月</p> </div> <p>薬価収載日:2008.12. 薬価 1錠:16.60 薬効分類コード 87 1139 抗てんかん剤</p>	<p>内)他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の下記発作に対する抗てんかん薬との併用療法 部分発作(二次性全般化発作を含む)、強直間代発作、Lennox-Gastaut 症候群における全般発作</p> <p style="text-align: center;">用法・用量</p> <p>・バルプロ酸ナトリウムを併用する場合:通常、ラモトリギンとして最初の2週間は1日0.15mg/kgを1回経口投与し、次の2週間は1日0.3mg/kgを1回経口投与する。その後は、1～2週間毎に最大0.3mg/kgずつ漸増する。維持用量は、バルプロ酸ナトリウムに加えて本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤を併用する場合は1日1～5mg/kgとし、本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤を併用していない場合は1日1～3mg/kgとし、2回に分割して経口投与する。なお、1日用量は最大200mgまでとする。</p> <p>・バルプロ酸ナトリウムを併用しない場合: 1)本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤を併用する場合:通常、ラモトリギンとして最初の2週間は1日0.6mg/kgを2回に分割して経口投与し、次の2週間は1日1.2mg/kgを2回に分割して経口投与する。その後は、1～2週間毎に最大1.2mg/kgずつ漸増する。維持用量は1日5～15mg/kgとし、2回に分割して経口投与する。なお、1日用量は最大400mgまでとする。 2)1)以外の抗てんかん薬を併用する場合:バルプロ酸ナトリウムを併用する場合に従う。</p> <p>用法及び用量に関連する使用上の注意</p> <ol style="list-style-type: none"> 本剤は他の抗てんかん薬と併用して使用すること 発疹等の皮膚障害の発現率は、定められた用法・用量を超えて投与した場合に高いことが示されているので、併用する抗てんかん薬の組み合わせに留意して、「用法・用量」を遵守すること。なお、体重換算等により調節した用量に一致する錠剤の組み合わせがない場合には、調節した用量に最も近く、かつ超えない用量になるよう錠剤を組み合わせ投与すること 本剤による発疹等の皮膚症状のために投与を中止した場合には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合以外は再投与しないこと。再投与にあたっては、いかなる理由で投与を中止した患者においても、維持用量より低い用量から漸増すること(2.参照)。なお、投与中止から本剤の消失半減期の5倍の期間(バルプロ酸ナトリウムを併用した時は約350時間、バルプロ酸ナトリウムを併用せず本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤を併用した時は約65時間(いずれも外国人のデータ)、バルプロ酸ナトリウムも本剤のグルクロン酸抱合を誘導する抗てんかん薬も併用しなかった時は約170時間)を経過している場合は、初回用量から「用法・用量」に従って再開することが推奨される 小児へ投与する場合に、投与初期(1～2週)に体重換算した1日用量が1～2mgの範囲内であった場合は2mg錠を隔日に1錠服用する。体重換算した1日用量が1mg未満の場合は本剤を服用してはならない。本剤投与中は、体重変化を観察し、必要に応じ適切に用量の変更を行うこと。なお、2～6歳の小児の場合は維持用量の上限付近の用量が必要な場合がある。 経口避妊薬等、抗てんかん薬以外でも本剤のグルクロン酸抱合に影響を与える薬剤を併用する際には、本剤の用量調節を考慮すること 肝機能障害患者では、肝機能障害の程度に応じて、本剤のクリアランスが低下するため、本剤の投与にあたっては減量を考慮すること 	<p>警 本剤の投与により皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)及び中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)等の重篤な皮膚障害があらわれることがあるので、本剤の投与にあたっては十分に注意すること</p> <p>禁 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者。</p> <p>注 関肝機能障害のある患者、腎不全患者、他の抗てんかん薬に対しアレルギー又は発疹発現の既往歴がある患者</p> <p>相 上:バルプロ酸ナトリウム 下:本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤 ☆:カルバマゼピン、リスペリドン、経口避妊薬(卵胞ホルモン・黄体ホルモン合剤)</p> <p>副 重皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)及び中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)、過敏症症候群、再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、肝炎、肝機能障害及び黄疸、無菌性髄膜炎: 中止、他発疹、めまい、肝機能検査異常、その他。</p>

薬品名	効能・効果	備考
バリコンミール BARICON MEAL 堀井薬品 100g:硫酸バリウム 99g (Barium Sulfate) 薬価収載日:1989.6. 薬価 10g:15.40 薬効分類コード 87 7212 胃二重造影用硫酸バリウムX線造影剤	内) 食道・胃・十二指腸二重造影撮影	禁 消化管の穿孔又はその疑いのある患者、消化管に急性出血のある患者、消化管の閉塞又はその疑いのある患者、 全身衰弱の強い患者、硫酸バリウム製剤に対し、過敏症の既往歴のある患者 注 〔慎〕消化管に瘻孔又はその疑いのある患者、穿孔を生ずるおそれのある患者(胃・十二指腸潰瘍、虫垂炎、憩室炎、潰瘍性大腸炎、腸重積症、腫瘍、寄生虫感染、生体組織検査後間もない患者等)、消化管の狭窄又はその疑いのある患者、腸管憩室のある患者 副 〔重〕ショック、アナフィラキシー様症状、消化管穿孔、腸閉塞、腹膜炎。 〔他〕排便困難、便秘、一過性の下痢・腹痛、肛門部痛・出血、悪心、嘔吐、発疹、そう痒感、蕁麻疹。
	用法・用量 本剤 100g に対し水 18～26mL を加えて 200W/V%～240W/V%の濃度の懸濁液とし、その適量を経口投与する。	

薬品名	効能・効果	備考
ガバペン錠 200/400mg GABAPEN Tablets ファイザー 1錠:ガバペンチン 200/400mg (Gabapentin) 薬価収載日:2006.09 薬価 200mg 1錠:38.30 400mg 1錠:62.80 薬効分類コード 87 1139 抗てんかん剤	内) 他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法	禁 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 注 〔慎〕腎機能障害のある患者、高齢者。 相 ◆↓:制酸剤↑:モルヒネ 副 〔重〕急性腎不全、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、肝炎、肝機能障害、黄疸:〔中止〕。 〔他〕傾眠、浮動性めまい、頭痛、白血球数減少、けん怠感、その他。
	用法・用量 通常、成人にはガバペンチンとして初日1日量600mg、2日目1日量1200mgをそれぞれ3回に分割経口投与する。3日目以降は、維持量として1日量1200mg～1800mgを3回に分割経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日最高投与量は2400mgまでとする。 <用法及び用量に関連する使用上の注意> 1.本剤は他の抗てんかん薬と併用して使用すること。 2.投与初期に眠気、ふらつき等の症状があらわれることがあるので、投与初期においては眠気、ふらつき等の発現に十分注意しながら用量を調節すること。 3.1日3回投与の場合に、各投与間隔は12時間を超えないものとする。 4.本剤の投与を中止する場合には、最低1週間かけて徐々に減量すること。 5.腎機能障害のある患者に対する本剤の投与 6.血液透析を受けている患者に対する本剤の投与 血液透析を受けている患者に本剤を投与する際、クレアチニンクリアランスが5mL/min以上の場合には、上記の投与量に加え、血液透析を実施した後に本剤200mgを追加投与する。また、クレアチニンクリアランスが5mL/min未満の場合には、初日に200mgを単回投与したのち、血液透析を実施した後に本剤1回200、300又は400mgを追加投与する(それぞれクレアチニンクリアランス60mL/min以上の患者における1回400、600又は800mg1日3回投与に相当)。なお、ここで示している用法・用量は、48時間ごとに4時間血液透析した場合のシミュレーション結果に基づくもので、あくまでも目安であるので、各患者ごとに慎重に観察しながら調節すること。	

×:併用禁忌 ◆:併用注意

↑:本剤の作用増強 ↑:他剤の作用増強 ↓:本剤の作用減弱 ↓:他剤の作用減弱

↑↑:相乗作用、相加作用 ☆:その他

医薬品変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
● <u>4月1日より</u> ・ヒューマリン 3/7 注キット (日本イーライリリー)	ヒューマカート 3/7 注キット (日本イーライリリー) から切替

削除医薬品通知

● <u>4月1日より</u> ・バリトップ HD 300g (カイゲン) ・アスゲン顆粒 1g ヒート (アスゲン)	…バリコンミール 300g 採用の為 4/1 削除 …販売中止の為 4/1 削除
● <u>5月1日より</u> ・ベリチームカプセル (塩野義) ・ジギトキシシン錠 0.1mg (塩野義) ・ノアルテン D 錠 (塩野義)	…販売中止の為 5/1 削除 …販売中止の為 5/1 削除 …販売中止の為 5/1 削除